

提案書補足資料

※本様式においては、様式2に御記載いただいた内容について、その詳細や補足情報の記載、裏付けとなるエビデンスの添付等をお願いするものです。従って、様式2に記載した内容と異なることがないように、御留意ください。

※青字は申請時に必ず削除していただきますようお願いいたします。

※A4縦で、本文の文字サイズの基本はMS明朝で11ポイント以上としてください。強調する箇所は、下線を付す、太字にする、字体をMSゴシックに変更することなどは構いません。

※図や表を用いてできるだけ読みやすい提案書としてください。

※図表以外においては、文字色は黒をお願いいたします。

※提案書の構成は変更のないようお願いいたします（変更が著しい場合は、様式不備とみなされる場合がありますのでご注意ください）。

1. 提案者名称 ※1ページに収まるように簡潔に記載してください。

申請代表者	法人番号（※）	
	法人名	
	代表者役職・氏名	
	実施責任者役職・氏名	※代表者と同じ場合は、「同上」と記載願います。
連絡担当窓口	所在地	
	部署名	
	役職・氏名（ふりがな）	
	電話番号	
	E - m a i l	

※法人番号を付与されている場合には、13桁の番号を記載してください。

※各項目においては JGrants での入力内容と一致のこと。

※共同提案をする事業者等がある場合には、上記の欄を下に複製して記載してください。

2. 基本的事項（3ページ程度）

※本事業の実施体制、補助事業者としての財務的健全性、経費の妥当性、工程の妥当性について、様式2でまとめた上で、補足情報があればこちらに詳細を記載又は資料の添付（又は別紙としての提出）をお願いします。

3. 事業の内容（4～6ページ程度）

※本事業の具体的な実施方法及び内容を、以下の3つの審査項目ごとにお書きください。また、各項目について「必須項目」に係る記載をそれぞれ必ず盛り込んでください。

※様式2でまとめた上で、こちらに詳細を記載又は資料の添付（又は別紙としての提出）をお願いします。

① ディープテック・スタートアップによる技術シーズの事業化を促進させる取組に係る事項

（参考：①における審査項目）

<必須項目>

- ・ 研究開発設備等の整備に多額の資金や人的能力を要する、量子、AI、バイオテクノロジー、半導体・電子機器、環境・エネルギー、素材、医療機器、航空宇宙等のディープテック分野におけるスタートアップによる利用を想定した事業計画であること
- ・ 導入・運用等をする設備等が、ディープテック・スタートアップの行う研究開発及びその技術シーズの事業化に資するものであること

<加点項目>

- ・ スタートアップを主な利用者とするインキュベーション施設を運営してきた実績を有すること、及びその実績内容
- ・ インキュベーション施設の運営において、技術的知見や専門知識の助言を得るためやスタートアップの発掘等のため、大学や国立研究機関その他のこれらに類似する研究機関と連携していること、また、その連携内容
- ・ 施設を利用するディープテック・スタートアップに対して、その研究開発や技術シーズの事業化の促進に資するサービス（例えば、事業会社との共同研究の斡旋や経営人材とのマッチング機会の提供、知財や法務等の専門家の紹介等の各種ビジネスサポートの提供、資金調達機会の創出、独立（十分に成長し、シェアオフィスから巣立つこと）を実現する仕組み等）を提供する計画を有していること、及びその計画内容

※上記のサービスを現に提供している事業者であって、そのサービス提供によるディープテック・スタートアップの成長に係る実績を証明できるものについては、更に加点。

- ・ 施設を利用するディープテック・スタートアップにビジネスサポートを提供できる人材の育成に取り組んでいること又はそうした人材の育成に取り組む計画を有していること、及びその計画内容

② 補助対象施設に係る施設・設備の適切な維持・管理体制と持続可能な経営の実現に向けた取組に係る事項

(参考：②における審査項目)

<必須項目>

- ・ 補助を受けて設備等を導入するインキュベーション施設及び導入した設備等に関して、事業実施期間後の運用及び更新計画が事業計画に含まれており、かつ、当該運用及び更新に要する費用を自己資金で賄うことが明記されていること
- ・ 補助対象の施設の事業計画において、持続可能な経営の実現に向けた取組みが長期的な視点（例えば10年程度の期間）の下で構想されていること。特に、以下の2つの要素を含むこと。

－収益を高める取組みや工夫（例えば、利用者を増やすための取組み、利用者に対する料金を公的機関に比べて高く設定することを可能とする構想、当初は低く設定していたとしても引き上げる構想等）

－補助対象の施設・設備等に係る利用見込みや収益見込みが合理的に見積もられていること

<加点項目>

- ・ 当該施設の事業に係る専任の運営マネージャーの配置等により、施設の運営・利用・活用を戦略的かつ柔軟にマネジメントする体制を敷いていること、及びそのマネジメント体制の内容
- ・ 大学や公的機関等が運営する他のインキュベーション施設との比較をすることによって、利用者として想定しているディープテック・スタートアップ像を明確にし、事業計画に反映されていること、及びそのスタートアップ像の具体性
- ・ 当該インキュベーション施設が、施設の立地している自治体における都市計画等の地域の発展・振興に係る中長期の計画に明確に位置づけられていること、及びその位置づけられている内容

③ インキュベーション施設を整備する必要性・妥当性に係る事項

(参考：③における審査項目)

<必須項目>

- ・当該地域において、ディープテック・スタートアップからのニーズを満たすほどに質・量の観点からインキュベーション施設の整備がされていないこと

<加点項目>

- ・新たにインキュベーション施設を整備する場合であって、周辺に類似施設が存在しないこと

4. 自社のこれまでの運営実績・インキュベーション施設運営事業者としての強み

(3ページ以内)

※御社で実施してきたインキュベーション施設運営に係る実績の詳細を記載をお願いします

※インキュベーション施設運営事業者として特に強調したい強みの記載をお願いします。

※既存のインキュベーション施設の事業・取組がある場合には、当該事業・取組と本事業で
取り組む事項の関係性や違いについての記載をお願いします。

※様式2で1枚にまとめた上で、詳細や補足する情報をこちらにお書きください。